

# クリエイイト

# ニュース

第15号 2011年8月

山形県東根市中央一丁目5番1号  
タントクルセンター内

発行 NPO法人クリエイイトひがしね

www.higashine.org TEL0237-43-0731



共育事業  
今年も楽しくスタート  
ワイワイ楽しいどろんこ遊び

## 「クリエイイトひがしね」が目指すもの

理事長 菊地 和博

「クリエイイトひがしね」が常に目指さなければならぬことが少なくとも5つあります。

1つは、幼児の成長にあたって親御さんも含めた心身にわたる支援を行うこと。

2つは、子どもたちの健康的・創意的な遊びをとおした健全育成の手助けをすること。

3つは、子どもたちと熟年者たちとの世代間交流を企画しながら健康の保持と文化の伝承に寄与すること。

4つは、部会活動など自主的グループ活動を活発化して、各種団体とも連携しながら生きがいつくりと地域発展に貢献すること。

5つは、タントクルセンターの来館者に対して、さすが東根市との評価を受けられるような積極サービスと礼節につとめること。

細かい点をあげればまだまだありますが、とりあえず、大筋としては以上のようなことが当面の目指す目標だと考えられます。クリエイイトの企画員ならば全員がこのうちのどれかに該当する役割を担っていると思います。これを機会に、もう一度ご自分の立ち位置や任務を確認していただければ幸いです。

親子で楽しく遊びながら、東根の自然と文化、歴史をまなぶ学校

# 親子あそびの学校

第2回タントクル親子あそびの学校が7月2日（土）東郷地区沼沢の炭焼き村にて開催されました。梅雨真っ只中でしたが天候にも恵まれ、元気な太陽の下、夏の沼沢を思いきり楽しむことができました。急斜面の山道を登り採ってきた笹の葉で笹巻きづくり。お昼の流しそうめんにみんなの顔はにっこにこ。午後からのどろんこあそびは子ども達が一番いきいきしている時間でした。子どもにとって自然は一番のあそび相手なのかもしれません。

（須藤真美）



## 流しそうめん&どろんこあそび

(上)どろんこあそび  
(右)ささまきつくり  
(右上)流しそうめん

## けやきホール避難訓練

さくらんぼタントクルセンターは、年間約35万人が来館利用する子育て支援・保健福祉の拠点施設です。特に、けやきホールは東根のシンボル「日本一の大けやき」をモチーフにした大型遊具に親子の歓声が夕方遅くまで聞こえます。私たちスタッフは、全力で子供たちを余震から守らなければなりません。私たちは、毎月11日を避難訓練の日と定め、親子一緒に訓練を行っています。初回の4月11日はちょっとぎこちなかったのですが、今では、リピーターもできて、親御さん同士で避難を助け合っています。万が一に備えて、私たちは、大切な子供たちを命がけで守ります。（奥山 忠雄）

## 防災センター視察研修

私たちは、多くの人を利用する「さくらんぼタントクルセンター」運営にかかわっていますので特に防災意識の必要性を身近に感じています。その防災意識を高めるために、今回は山形県防災学習館研修が企画されました。そこでは、震度7横揺れ、震度5縦揺れ、煙体験や消火器による消火訓練、防災の講義等を学習しました。もし実際このような状況だとしたら私たちはどう行動できるか、どう行動すべきかなど考えさせられる貴重な時間となりました。きっと今回の全体研修は、これからのわたしたちの活動や運営に生かされると思います。

（深瀬豊春）



## ファミリーサポートセンター

ファミリー・サポート・センターは子育てのお手伝いをしてほしい方（利用会員）と子育てに協力したい方（協力会員）とが助け合うネットワークを作り、子育てのサポートをしています。交流会では、毎回大変盛り上がりたたくさんの方から参加していただいています。東根ファミ・サポでは今までたくさんの出会いが生まれ、子育ての輪がどんどん広がっています。これからも大人も子どもも笑顔あふれるファミ・サポ目指して、今後も東根市の子育て支援事業の一躍を担っていきます。（奥山美和）



## 子育て支援センター

子育てサロンでは、毎月1～2回の割合でテーマトークを開催しております。7月は「先輩ママの話」でした。子育て中のママさん達には、1番身近な存在である先輩ママさんから実体験をお話しして頂くことが、気持ちに寄り添い・心に通じる事が多いということで企画しています。悩みは皆誰しも持っているので、抱え込まず、ママ友や子育て支援のスタッフにどんどん話しかけてください。また、後期に企画したいと考えております。（芦野友子）



## NP0法人クリエイトひがしね総会

平成23年6月8日（水）午後4時からさくらんぼタントクルセンター視聴覚室において、企画員40名（委任者3名含む）の出席のもと、第8回通常総会が開催され、承認決議事項とも全員一致で可決承認されました。議決事項のひとつとして、年間加入金並びに賛助

会費が見直され、大幅に引き下げられることになりました。

法人会員の拡大を目指し、一緒に活動してくださる方、物心両面で支援してくださる方を広く募集していきます。

（村山恵子）

### 新組織体制

理事長 菊地和博  
副理事長 伊勢 博  
事務局長(理事) 村山恵子

屋外遊び場担当理事 丹野久江  
文化振興担当理事 村田民雄  
遊び・保育担当理事 深瀬豊春  
財務担当理事 長瀬京子  
文化振興担当理事 鈴木茂子  
健康いきがい担当理事 高橋京子  
施設危機管理担当理事 奥山忠雄

監事 東海林光輝  
大江和明

#### ★子育て健康部会

部会長 奥山明美  
副部会長 奥山奥子

#### ＜楽楽クラブ＞

奥山貴代子 高桑 秀  
大乘美恵子 鈴木茂子  
菅野ちづ子 武田敏子

#### ＜ハピチル応援隊＞

奥山美和 小林順子  
石山千晶 佐藤千恵子  
須藤真美 芦野友子  
森谷栄美子 細谷由紀  
村山恵子

#### ★まちづくり部会

部会長 深瀬豊春  
副部会長 武田忠史

#### ★芸術文化・情報部会

部会長 山口亜衣  
副部会長 奥山節子

村田民雄 伊勢 博  
横尾永孝 斎藤文四郎  
高橋京子 菊地純子  
本間義章

#### けやきジュニア合唱団

団長 斎藤文四郎  
事務局 長谷川宣政  
鈴木茂子  
指導 阿部美穂子  
ピアノ 奥山まき子

奥山博志 長瀬京子 白幡幸一  
齋藤千里 結城栄子 奥山忠雄

＝平成23年7月1日より＝

# クリエイティブがしね 新メンバー自己紹介

クリエイティブがしねの企画員は、幅広い活動をしている楽しい仲間です。毎回紹介していきますので、お楽しみに！

## 奥山忠雄



昭和26年1月12日生まれ、60歳。出身地は六田ですが縁あって長瀨に居住しています。趣味は映画鑑賞、1人旅行、食べ歩きです。今年3月31日まで消防本部に奉職していました。東日本震災が発生した3月11日から緊急消防援助隊の派遣、県外からの避難者の確保、放射能対応等で結局私の送別会はできず、4月1日から心機一転して、クリエイティブがしねにお世話になることになりました。今までの仕事とは180℃異なる子供さん相手、スタッフの皆さんから支えられ、笑顔を絶やさず、万が一の災害等から大切なお子さんを守ります。

## 森谷栄美子



このたび、縁あって四月から仲間に入れて頂きました。けやきホールとファミリー・サポート・センターを行ったり来たりしています。最近、「森谷さんって、何だか、ずっと前からいる気がする。」と声を掛けて頂くことがあります。新人ですので宜しくお願い致します。

私は、ファミリー・サポート・センターの協力会員として、四年間活動させて頂きました。忘れかけていた子どもと接する喜び、子どもを介して知り合ったお母さん方、一緒に活動した協力会員の方々。私にとって、掛替えのない宝物です。こんな出会いを大切に、言いふるされた感じですが、「初心忘るべからず」の言葉を忘れず、自分自身を成長させて行きたいと思っております。

## 事務局からのお知らせ

男女いきいき・子育て応援宣言企業の第9期に登録しました。登録企業への支援措置として、金融面の支援・取り組みへの助言（講師派遣）・女性の活用への奨励金交付などのメリットがあります。私たちは「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）の実現を目指しお互いさまの精神のもと、みんながいきいきと働きやすい職場環境の整備を進めていきます。

## 奥山まき子



出身地仙台から東根市に移って7年目、2才と4才の男の子2人の母として子育て大奮闘中の日々です。団の創立から伴奏を担当し、様々な場所での発表や慰問などの活動をしてきました。子供たちを中心とした初めての合唱団という事で、メンバーや活動内容が定着するまでに時間がかかり、技術面や歌唱力もまだまだな部分もありますが、子供らしく、素直に歌ってきました。聴いている皆さんにも「歌が好き！」「楽しい！！」ときっと伝えられているはず。また、先日の国分一太郎氏のイベントでも“もんぺの子供”“日暮れの酒買い”を歌わせていただきましたが、こういった子供の歌声ならではの魅力で、今後ますます活躍の場が増える事を期待しています。

## 細谷由紀



以前からあそびの学校に、まもらんぼ母親クラブより協力団体として参加させて頂いておりました。これからはクリエイティブがしねの一員として、その他の活動にも参加させて頂きながら、東根の子ども達と共に成長していければと考えております。地区は大林、6年と4年の娘の母です。どうぞよろしくお願い致します。

## 編集後記

クリエイティブニュースを発行しようと準備を始めて早2ヶ月、慣れない作業に思うように進まない編集。ダメだし連発に悪戦苦闘した15号がようやく完成しました。

まだまだ、勉強しなければならぬと痛感しています。次号は更に磨きをかけ皆様にお届けしたいと考えております。（奥山節子）